

国立科学博物館 筑波実験植物園

筑波山の南に広がる筑波研究学園都市にあり、国立科学博物館が植物の研究を推進するために設置した植物園です。植物の多様性を知り、守り、伝えることを使命に、研究、保全、展示、学習支援活動を行っています。



教育棟

「見ごろの植物」パンフレットがもらえる植物園のエンタランスエリア。図書コーナーやミュージアムショップもあります。



研修展示館

常設展示とセミナー室があります。水生植物温室併設。飲食可能な休憩スペースがあります。



自然史標本棟

【1階見学スペースのみ公開】

国立科学博物館が保有する標本資料の収蔵施設。



◆開園時間 9:00～16:30 (入園は16:00まで)  
※催事によって延長いたします

◆休園日 毎週月曜日 (祝日・休日の場合は開園)  
祝日・休日の翌日 (土曜・日曜日の場合は開園)  
年末年始 (12月28日～1月4日)

◆入園料

区分	入園料	備考
一般・大学生	320円	18歳未満 65歳以上は無料 障害のある方および付き添いの方1名は無料
小・高校生	無料	
団体	250円	団体は20名以上
リピーターズパス	1,500円	入会日から1年間有効 上野本館常設展、附属自然教育園も利用可
みどりのパス (2018年1月より販売)	900円	入会日から1年間有効 附属自然教育園も利用可

◆天体観望 第2土曜日晴天の日暮れから約2時間実施します  
前日までに要電話予約。観望料は入園料と同額

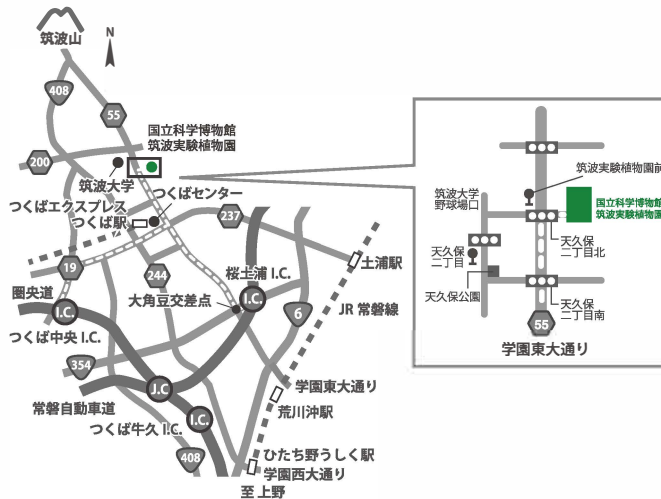
◆交通案内

□お車でお越しの方

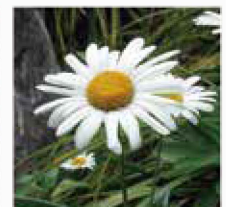
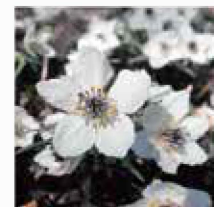
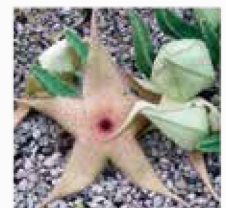
常磐自動車道 桜土浦I.C.から北(筑波山方面)へ約8km  
圏央道 つくば中央I.C.から約7km 無料駐車場 約120台

□電車・バスでお越しの方

つくばエクスプレス「つくば」駅より関東鉄道バス  
テクノパーク大穂行き「筑波実験植物園前」下車徒歩2分、  
または筑波大学循環(左回り)「天久保2丁目」下車徒歩8分



Tsukuba Botanical Garden



植物多様性を知る・守る・伝える  
筑波実験植物園  
Tsukuba Botanical Garden



国立科学博物館 筑波実験植物園  
〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1 TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998  
<http://www.tbg.kahaku.go.jp/>

Welcome to  
Tsukuba  
Botanical  
Garden

園内は、「世界の生態区」と「生命を支える多様性区」に分かれます。日本の代表的な植物、世界のいろいろな環境に生育する植物、生活に利用する植物など、およそ三千種類の植物をご覧になれます。



- W1 常緑広葉樹林** タブノキやシイ、カシのなかまの林
- W2 温帯性針葉樹林** モミ、ツガの他、スギ、ヒノキ、ヒメコマツなどの林
- W3 暖温帯落葉広葉樹林** コナラ、クヌギ、クリ、ヤマザクラ、コブシなどの林
- W4 冷温帯落葉広葉樹林** ブナ、イヌブナ、ホオノキなどの林
- W5 W6 低木林** ヤマツツジ、ハコネウツギ、シモツケなどの低木
- W7 W8 砂礫地植物** 河原や砂浜の砂礫地に生えるカワラサイコ、カワラハンノキ、ハマゴウなど
- W9 W10 山地草原** 野山や高原の草原に生えるキキョウ、ワレモコウ、ユウスゲ、オキナグサなど
- W11 W12 岩礫地植物** 海岸や山地の岩礫地に生えるハマギク、イソギク、サンショウバラ、イブキジャコウソウなど
- W13 水生植物** 湿地や湖沼、河川に生えるハンゲショウ、ミズバショウ、アサザ、コウホネなど

- A サバンナ温室** アフリカ、アメリカ、オーストラリア、アジアなどの乾燥地に自生する植物
- B 熱帯雨林温室** アジアの熱帯雨林の植物
- C 水生植物温室** 熱帯の湿地や湖沼の水生植物とマングローブ植物

**W 世界の生態区**  
World Vegetation Area  
屋外では主に日本の暖温帯～冷温帯の植物が、温室では世界の温潤熱帯や乾燥地の植物が見られます。

**H 生命を支える多様性区**  
Human and Biodiversity Area  
衣食住、観賞など、生活に欠かせない植物が見られます。

- P** 駐車場
- 飲食できる場所
- 出口
- 自動販売機
- トイレ
- 多目的トイレ
- 水飲場
- 授乳室
- 研究管理区域（一般公開はしていません）
- オストメイトトイレ

敷地面積 140,022m<sup>2</sup>

【中央広場】各区画へのロータリーとして、食虫植物や絶滅危惧植物など、植物に関するさまざまな話題にふれることができます。

